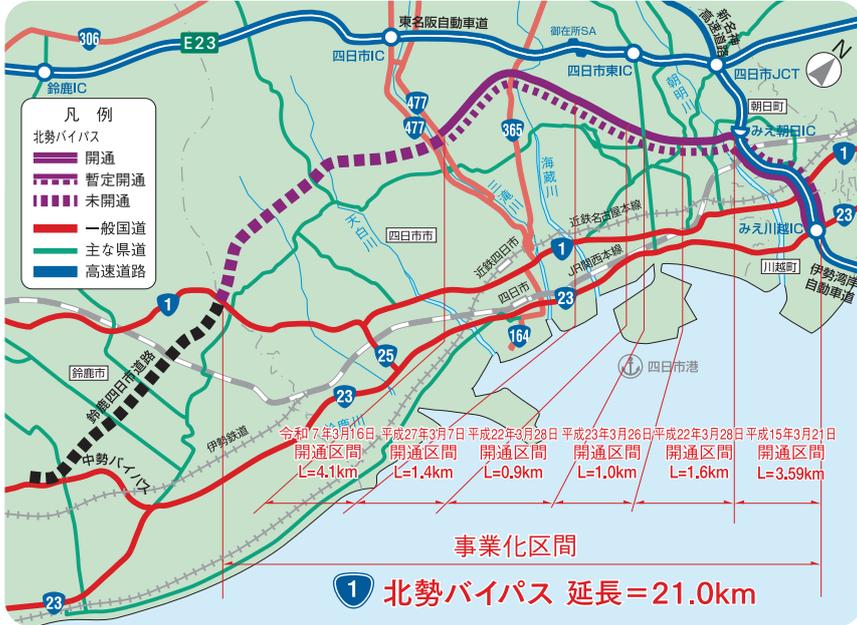


地域の発展、活力ある未来へ

一般国道1号北勢バイパスは、三重県三重郡川越町南福崎(国道23号)から四日市市采女町(国道1号)に至る延長21.0kmの幹線道路です。国道1号と国道23号並びに、内陸部の生活道路を適切に交通分散することによって交通混雑の緩和を図るとともに、道路交通の安全を確保し、さらには内陸部の地域開発を促進することも目指しています。



一般国道1号 北勢バイパス プロフィール

路線名	一般国道1号
事業区間	三重県三重郡川越町南福崎～四日市市采女町
事業延長	21km
構造規格	第3種1級
設計速度	80km/h(一部60km/h)
標準幅員	W=25m(4車線×3.5m)
暫定計画幅員	W=13m(2車線×3.5m)
事業化年度	平成4年度

都市計画関係

都市計画道路名	伊勢湾岸道路/北勢バイパス
都市計画決定	平成2年12月25日
計画延長	約3,620m/約17,340m
計画区間	三重県三重郡川越町南福崎～四日市市広永町/よっかいち しひるなちよう よっかいち し うねめちよう 四日市市広永町～四日市市采女町

北勢バイパス周辺地域の現状と課題

災害に強い道路機能の確保

○防災拠点の連絡、啓開ルートの形成

南海トラフ巨大地震による津波浸水被害の新たな予測結果が公表(平成26年3月 三重県)され、第1次緊急輸送道路に指定されている国道1号・23号においても浸水被害が予測されています。四日市市中心から南部においては、第1次緊急輸送道路ネットワークが途絶し、防災拠点間の連絡が困難となる恐れがあります。

北勢バイパスの整備により、第1次緊急輸送道路が拡充されるとともに、防災拠点間の連絡経路が確保され、津波浸水域を迂回して道路啓開ルートを形成します。

○防災拠点間の連絡、北勢バイパスからの啓開ルートの形成



※予想浸水域：国土数値情報 津波浸水想定(H28 三重県)を基に作成
 防災拠点・第1次緊急輸送道路：三重県緊急輸送道路ネットワーク計画(令和6年2月)を基に作成
 ※「中部版くしの歯作戦」(令和6年5月改訂版中部地方幹線道路協議会)を参考に作成